

# 自主貢献

あいきつは あふれる笑顔の あいことば

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 令和5年2月1日(水)

発行者 学校長 古木 喜雅

所在地 神奈川県西寺尾三丁目10番1号

電話 045-401-3644 FAX 045-431-0244

## 昭和の時代から学んだこと

副校長 大字 宏史

気が付けば、2023年が始まり、あっという間に1か月が過ぎました。

昭和生まれの私は、昭和時代の終わりとなつた元号、平成、さらには令和と3つの時代を生きることになります。その令和も、今年ですでに5年目となりました。月日の経つのは本当に早いと感じます。

最近、自宅でテレビを見ていたら、平成生まれの20歳ぐらいの方が、昭和の時代では当たり前と考えられていたことに対して、「へえ〜!」「まじか〜!？」などの反応を見せていました。最近、便利な世の中である反面、昭和やそれ以前の人々の暮らしや行動に対して、肯定的な意見を述べてくれる若者が多いということです。私たち、昭和生まれの人間には嬉しい限りです。そんな昭和時代のお話を少ししたいと思います。

今や当たり前の液晶テレビ、自動洗濯機、電子レンジ、携帯電話、パソコンなどは、自分の幼少から中学生くらいまでは、ほとんどの家庭にはなかったと思います。テレビはブラウン管で、サイズは大きいのですが、白黒で、リモコンはなく、手でチャンネルを操作するものでした。洗濯機は、洗いと脱水が分かれており、水はお風呂の水を桶で汲んで使用していましたし、電話は、黒電話のダイヤル式でした。パソコンや電子レンジなどは存在せず、印刷は、カーボン紙に手書きし、必要な枚数分をインクで刷るなど、高度な技術が進化した現在では想像もつかないような時代でした。

今では簡単で当たり前でできてしまうことも、「どうすれば」と解決方法を見つけるには、時間がかかることもたくさんあったので、家族や親戚、近所の人、友人や先生など多くの人と相談したり、協力したりすることが、よりよく生きていくためには不可欠だったのではないかなと思っています。その関係を作るために自分に必要なことをたくさんの人から教えられ、あるいは自ら学んできて、今の自分があるのだろうなと思っています。

そんな大切なことを教えていただいた親をはじめ、多くの方に恩返しをしなくてはならない年齢なのですが、できずにお別れしてしまった方も増えてきています。(恩義には厚い礼返しが自分の信念であるにもかかわらず・・・)

平成生まれの生徒たちは、平成、令和、もしかしたら新しい年号の時代を生きることになるのでしょうか。そして、その新しい時代をも「昔」という時代がやってくることは間違いありません。きっと、現在とは比較にならないすごい時代になっていることなのでしょう。新しい時代の人々に、現代を生きる私たちは、何を残せるのでしょうか?物質的な豊かさや便利さは間違えなく残せそう(他力本願ですみません)ですが、人の心や記憶には何を残せるのか考えると少々不安になるのは私だけでしょうか?

長々と思いを書き綴りましたが、仕事や時間に追われる毎日の中で、たまにはこのような思いにふける時間があってもいいのかなぁと思います。

最後になりますが、生徒のみなさん、保護者の皆様、地域の方々、錦台中という共通点を最大限に生かし、ともに前進していけるように、今後とも力を合わせて頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。